

まちの話 だい

7月2日 | カラフルな風船に笑顔

こども館で、小学生約10人が色鮮やかな「バルーンアート」作りに挑戦しました。

これは、同館で定期的に行われている手づくり体験教室の一環。子どもたちは、細長い風船を割らないようにひねったり、色合わせに悩んだりしながら、カラフルな動物やお菓子などを制作しました。それぞれ自分だけの作品を完成させ、笑顔で自慢合っていました。



7月3日 | 1万人がタイムスリップ

島田市博物館の収藏品展「明日がある～五感でふりかえる昭和展」の入館者が1万人に達し、記念セレモニーが開かれました。

節目の1万人目になったのは、一瀬重郎^{いちのせじゅうろう}太さんと幸子^{さちこ}さん夫妻（東京都八王子市）。島田宿をテレビで観て同館を訪れた2人は、濱田教育長とくす玉を割った後、記念品や花束を受け取り「良い思い出になった」と喜んでいました。

トピックス

国交省中部地方整備局長賞 受賞



7月28日に行われた「平成28年度河川・海岸の美化・愛護表彰式」において、市内釣り愛好家の会「大井川一心會^{いっしんかい しげもりひろさと}」（重森弘里会長）が、国土交通省中部地方整備局長賞を受賞しました。同賞は、5年以上にわたり河川の美化・愛護活動に顕著な功績があった団体に送られるものです（昨年度は神座・鵜網自治会が受賞）。

同会は、稲荷町～相賀の大井川沿いの清掃活動を、平成22年から年2回行っている実績が評価されました。





7月24日 | 笑い声で駅前を活性化

島田駅前緑地公園で、地域の交流の場を創出し、街中の魅力を再発見するワークショップ「POSSIBILITY OF THE PARK～小さな公園の大きな可能性」が開催されました。

公園では、多くの親子が青空へアーサロンや廃材ドラム、木工遊びや古本交換など、大人と子どもが集い無料で遊べるイベントに参加。親子の笑い声が、駅前に響いていました。

7月22日 | 楽しい花火のお約束

屋外で遊ぶ機会が増える夏休みを前に、さくらんぼ保育園で花火教室が行われました。

教室では、島田消防署の隊員が花火を持った際の危ない行動などを実演。その後は、園児一人一人が花火を持ち、着火から消火まで安全な花火の遊び方を学びました。教室の最後には、大きな仕掛け花火が登場。大きな火花に驚きながらも、みんな落ち着いて行動することができました。



トピックス

新「さわやかしまだ」が決定!



7月23日、市観光協会主催の「2016 さわやかしまだコンテスト」が行われ、第11代さわやかしまだ(写真左から川井万里亜さん、河村愛子さん、亀山美季さん)が決定しました。今後3人は、市内の観光名所・施設・特産品などを全国に向けて、積極的なPR活動を行います。

任期は2年間。9月18日(日)に開催される「第59回島田髷まつり」では、髷姿を披露する予定です。3人のさわやかな笑顔への応援、よろしくお願いします。